

10月17日(土曜日)「主の祈り(3)」

【新改訳 2017】

ルカ 11.2

「御国が来ますように」

直訳では、「あなたの王国が来ますように」となります。まず、主イエスが教えてくださった祈りは、神との親しい、人格的なかわりのある祈りであることを知ってください。「私たちの父なる神」「あなたの御名」「あなたの御国」という表現でわかります。日本語訳では、「御国」の「御」を付けてそれを訳出していますが、ギリシャ語聖書では「スー」、すなわち「あなたの」です。

「御国」は先にも学びましたように、王国、支配、統治を意味することばです。基本的には、神のご支配の意味です。今、地上においては「恵みの国(支配)として、やがて来るべき時には「栄光の国」として、内、外面的において成就するのです。

神の国は、私たちが祈らなくてもやがて完全に成就しますが、私たちもあずからせていただくように祈るのです。とても厳粛なことを祈っていることを覚えましょう。

～祈り～

主よ。神のご支配と統治を、私の心の中に快くお受けする信仰を与えてください。そして、やがて、完全な意味で実現する日を待つ者でありますように。

【学びのために】。

ルター「たしかに神の国は、われわれの祈りがなくても、みずから来るものです。しかし、われわれはこの祈りにおいて、み国がわれわれのところにも来るようにと祈るのです」。